

**授業実践**

- 題材 「音やフレーズをつなげて、重ねて楽しもう！」  
 教材 「パパゲーノとパパゲーナの二重唱」(モーツァルト作曲) (鑑賞)  
 「音やフレーズをつなげて、重ねて」 (音楽づくり)

**題材の目標**

掛け合いや音の重なりなどが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、呼びかけとこたえ、音楽の縦と横の関係などの音楽の仕組みを理解して聴いたり、それらの音楽の仕組みを生かして、まとまりのある音楽をつくったりすることができる。

- 本題材で位置付ける【共通事項】** (ア) 音楽を特徴付けている要素 (イ) 音楽の仕組み  
 (ア) 音色、リズム、音の重なり (イ) 呼びかけとこたえ、音楽の縦と横の関係

**本題材で身に付けたい知識**

呼びかけとこたえ、音楽の縦と横の関係などの音楽の仕組みや、それらが音楽を特徴付けている要素と関わり合って生み出すよさや面白さと音楽の構造との関わりについて理解すること。

**ア 1時目**

○目標

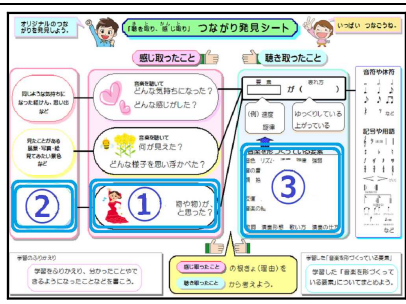
掛け合いや音の重なりなどが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、呼びかけとこたえ、音楽の縦と横の関係などの音楽の構造を理解して聴く学習に進んで取り組む。


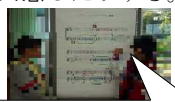

○授業の展開

過程	学習活動	教師の指導 (○)、手立て [①~⑦] に対する支援 (●)
導入	0 音楽遊びをする。	○ 2人組でリズムの模倣をしながら、楽しく音楽の仕組みに着目できるようにした。
	1 学習内容を知る。	○ 曲名から自由に曲想を想像させ、その根拠を問うことで、音楽を形づくっている要素を意識できるようにした。
めあて：「パパゲーノとパパゲーナの二重唱」の『音楽の仕組み』のひみつを探ろう！		
展開	2 「パパゲーノとパパゲーナの二重唱」を聴き、曲想と音楽の構造との関わりをつかむ。	● 「どのような人物が、何をしていると思ったか」の視点を示し「感じ取ったこと」を表現しやすくした [①]。 ● 「その人物の表情や気持ち、行動や様子、会話」などの視点を示し、自分のイメージと結び付けて考えることができるようにした [②]。 ● 感じ取ったことからその理由を考えさせ、「音楽を形づくっている要素」の一覧を参考にしながら、それらと関わらせて考えることができるようにした [⑤]。 ● 言葉による表現が困難な児童に対しては、「表現の例」や「使いたい言葉の例」を参考にさせた [③]。 ○ つながり発見シートを基に4人グループで交流させ、全員が自分の考えを発表できるようにした。
	(1) 「感じ取ったこと」を自分のイメージや経験と関連付けながら書く。	
	(2) 「聴き取ったこと」を「音楽を形づくっている要素」と関わらせて書く。	

男の人と女の人が会話をしていて…表情は楽しそう、笑顔。

男女が交互に歌っているから、会話みたいなんだね。  
 呼びかけとこたえになっているね。




展 開	<p>したり、共感したりする。</p> <p>なるほど。二人は…</p>  <p>男女の声が最後に重なるから仲がよさそう。</p> <p>(3) 全体で考えたことを共有したり、共感したりする。</p>  <p>ここから盛り上がります。歌ってみます。</p>  <p>整理したら…</p> <p>3 「パパゲーノとパパゲーナの二重唱」の紹介文を書く。</p>	<p>○楽譜を提示し、歌ったり聴き比べをしたりしながら、互いの考えに共感したり新たな気付きを発見したりできるようにした。</p> <p>○交流の時間は小音量で音楽を流し、必要に応じて音楽を聴きながら互いの考えを確認できるようにした。</p> <p>○グループ交流の中で学級全体で共有したいと感じた内容を発表させた。</p> <p>○歌ったり、聴き比べをしたりすることで、他者の考えを確認しながら共有したり、共感したりできるようにした。</p> <p>○発表内容を板書し、音楽の仕組みと音楽を特徴付けている要素との関わりについても捉えることができるようにした。</p> <p>○低学年の友達を対象に書かせることで、分かりやすく、自分の言葉で表現できるようにした。</p>
	ま と め	<p>4 本時の学習を振り返り、次時の学習を知る。</p> <p>○紹介文を紹介させ、本時の学習で学んだことを発表させた。</p> <p>○次時は、音楽づくりに取り組むことを伝え、意欲を高めさせた。</p>

## イ 2時目

### ○目標

呼びかけとこたえ、音楽の縦と横の関係などを生かして音楽をつくる学習に進んで取り組み、掛け合いや音の重なりなどが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、音やフレーズのつなげ方や重ね方を工夫する。

### ○授業の展開

過程	学習活動	教師の指導 (○)、手立て〔①～⑦〕に対する支援 (●)
導 入	<p>0 音楽遊びをする。</p> <p>1 学習内容を知る。</p>	<p>○2人組でリコーダーを使った音楽遊び(まねっこあそび)をさせ、楽しみながら音楽の仕組みに着目できるようにした。</p> <p>●前時の学習をつながり発見シートを基に振り返らせ、曲想と音楽の構造との関わりについて理解したことを、本時の音楽づくりに生かすことができるようにした〔④〕。</p>
	<p>めあて：『音楽の仕組み』のひみつを使って、2人組で音楽をつくろう！（パート1）</p>	
展 開	<p>2 2人組で、日常生活で起こり得る場面を想定し、音楽の仕組みを生かした音楽づくりに取り組む。</p> <p>朝の会話を音楽にしたいね。まず、私のパートから始めて…</p> <p>楽器はどうする？</p> 	<p>○日常で起こり得る場面についてのあらすじを考えさせ、つくる音楽に思いを持たせるようにした。</p> <p>○「どのような人物が、何をしていると思ったか」「その人物の表情や気持ち、行動や様子、会話」などの視点を示し、つくる音楽に対するイメージを持たせるようにした。</p> <p>○2人組で考えたあらすじを基に音やフレーズのつなげ方を工夫しながら音楽をつくらせた。</p> <p>○使用する音を「ミソラド」の4音に限定し、音楽づくりがスムーズに進むようにした。</p>
	<p>・お父さんと私の会話だから、リコーダーと鍵盤ハーモニカを使おう。 ・盛り上がるころに向かって、だんだん交代を早くしよう。 ・最後は2人で一緒に演奏して心をつにしよう。最後はハモって仲良くなった感じを倍増させよう。</p>	


展 開	3 中間発表会で互いに作品を紹介する。	○音楽づくりがスムーズに進まない児童に対しては、前時の学習内容を振り返らせたり、リズムカードを提示して参考にさせたりした。 ○5グループに分かれて作品を紹介し合わせ、表現のよさを自分たちの音楽にも取り入れることができるようにするとともに、互いの工夫から、曲想と音楽の構造との関わりについての理解を深めさせた。 ●新たな気付きをつながり発見シートに記入させた〔⑥〕。
ま と め	4 学習を振り返り、次時の学習を知る。	○本時の学習を振り返り、児童の頑張りを称賛した。 ○次時は、中間発表会での気付きを基に音楽を工夫することを伝え、学習への意欲を高めさせた。

### ウ 3時目

#### ○目標

呼びかけとこたえ、音楽の縦と横の関係などが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、それらの音楽の仕組みを生かして、まとまりのある音楽をつくる。

#### ○授業の展開

過程	学習活動	教師の指導 (○)、手立て〔①～⑦〕に対する支援 (●)
導 入	0 音楽遊びをする。 1 学習内容を知る。	○2人組でリコーダーを使った音楽遊び(まねっこあそび)をしながら、楽しく音楽の仕組みに着目できるようにした。 ○前時の学習を称賛し、本時の学習に対する意欲を高めた。
展 開	2 前時につくった音楽を工夫する。 (1) 中間発表会での気付きを振り返る。 (2) 音楽を工夫する。 「ソ」と「ミ」で吹くとどうかな。「ソ」と「ド」の方が明るい感じだね。  最後の小節にこだわってつくろう。音を重ねて演奏しよう。何の音にする？ 3 発表会をする。	○前時につくった音楽を想起させ、本時の学習につなげることができるようにした。 ○中間発表会での気付きを振り返らせ、本時の活動に見通しを持つことができるようにした。 ○本時の学習に見通しを持つことができない児童に対しては、中間発表会で発見した他者のよさを取り入れて、様々に試行錯誤をしてみるよう声を掛けた。 ○演奏したり聴き比べたりしながら工夫している児童を称賛して実際に音や音楽を通して工夫する意欲を高めた。 ●活動が滞った児童に対しては、「表現の例」を示したり対照となるような音楽の演奏を聴かせたりしながら、呼びかけとこたえ、音楽の縦と横の関係に着目できるようにした〔③〕。 ○中間発表会と異なる5グループで発表会を行わせ、多くの工夫を知ることができるようにした。 ○互いの音楽のよさについて感想交流をさせ、認め合うことができるようにした。 ●互いの工夫から、曲想と音楽の構造との関わりについての新たな気付きをつながり発見シートに記入させた〔⑥〕。
ま と め	4 題材のまとめをし、学習の振り返りをする。	●題材全体を通し、曲想と音楽の構造との関わりについて理解したことをつながり発見シートにまとめさせ、自分の成長を自覚できるようにした〔⑦〕。